

ようこそ、本校ホームページにお越しくださいました。

「春は名のみ風の・・・」という歌詞が思い出されます。今年は、例年よりも早く梅がほころび始めたように思いますが、ここに来てまた寒波の到来。教員生活も30年を優に超えましたが、不思議とセンター試験と卒業式の日、決まって寒いという印象があります。

本日は、平成27年度の卒業証書授与式が挙行され、216名が青春の3年間を過ごした学び舎を巣立っていきました。式がほぼ予定通りに進行し、いよいよ卒業生退場の場面を迎えました。普通科、生物生産科、工業技術科、総合ビジネス科が、クラスごと一斉に立ち上がり、礼とともに、「有難うございました。」と声を合わせての退場。改めてこちらに正対し、簡潔ながら大きな声で「有難うございました」と感謝の言葉を述べられると、生徒と直接触れ合うことの少ない私も、何やら、こみ上げてくるものを感じました。ましてや、担任として生徒に寄り添い、生徒のためにと、時間と苦勞をかけた先生方の感慨はまた一入だったことと推測します。

多忙化が進み、何かしら教育の自由度が少なくなったと感じる昨今ですが、年に一度、このようなすがすがしさを感じることができるのは、この職業ならではの思いです。多様な人間とたくさん出会えるのも、教員という職業のおかげとも思います。教職員は、年々、プレッシャーと使命感と期待の中で勤務しておりますが、教職は関わらせてもらった生徒の成長する姿を見守ることができ、将来の宝として飛躍する生徒に期待がかけられる尊い職業でもあると思います。生徒たちが、知識、技能に加えて、学校生活で身につけた様々な能力を、将来に活かし、人生に大きな花を咲かせてくれることを祈ります。

卒業生（本校9期生）の就職希望者は、おかげで100%内定が決まりました。これから、普通科は、国公立大学の前期（日程）試験の発表、中期日程、後期日程試験の受験、とあと一踏ん張りです。努力を継続した現役生は、受験まで「伸びる」と言われています。日頃の努力が実を結びますように！

みんなで、「**サクラサク**」を念じています。

一方、あと10日ほどで、今度は高校の一般入学者選抜が行われ、12期生を迎えることとなります。今度は、どんな出会いが私たちを待ち受けているか、今から楽しみです。

受検生の皆さん、体調管理に気を付けて、臆することなく、しっかり実力を発揮してください。

平成28年3月1日

岡山県立新見高等学校長 石田 均